

	測 定 する 能 力		
論理的言語力	論理的読解力A	論理的読解力B	論理的思考力
日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえたり、「ことばのつながり」指示語・接続語などを論理的に扱う力。	文章を論理的に読む力。一文の構造を論理的に把握する力。小説などを客観的に読む力。	文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係、文章全体の論理構造を把握する力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。
	論理的読解力A	論理的読解力B	論理的思考力
	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。	他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。

\*\*\*

### 《問題Ⅰ》 論理的言語力 (40点)

#### 第一問

■解答 (各4点)

- (1) 私 (は) (2) おば (は)

#### ◆解説

- (1) 主語は前の文と同じ時に省略できま  
す。そこで、前文の主語の「私 (は)」  
が答え。
- (2) ここでも前文の主語の「おば (は)」  
が答え。

#### 第二問

■解答 (7点)

#### ア

#### ◆解説

禅智内供ぜんちないくの鼻ですが、「上唇くちわらの上からあ  
ごの下まで下っている」から、イとウを消  
去。「形は元も先も同じように太い」から、  
エを消去。

#### 第三問

■解答 (各2点)

- (1) ばかり (2) だけ (3) こそ

#### ◆解説

- 助詞の問題。
- (1) 寝ること以外何もしていないので、「だ  
け」の意味の三文字の言葉。
  - (2) (1)と同じ、これしかないという意味で、  
二文字の言葉。
  - (3) 強調するための二文字の言葉。

#### 第四問

■解答 (各3点)

- (1) イ (2) エ (3) ウ

#### ◆解説

- 一文の論理構造を読み取る問題。
- (1) (私は)↓「待っています」が主語と述  
語。「来週の」↓「月曜日の」↓「三時に」  
↓「待っています」、「駅の」↓「改札で」↓  
「待っています」とそれぞれつながって  
います。
  - (2) 「私は」↓「つけている」が主語と述語。  
「春から」↓「つけている」、「一日も」↓「か  
かさず」↓「つけている」、「日誌を」↓「つ

けている」とつながります。

- (3) 「植物には」↓「ある」が主語と述語。  
「空気を」↓「きれいに」↓「する」↓「作用  
が」↓「ある」とつながります。

#### 第五問

■解答 (各2点)

- (1) キ (2) ウ (3) ア (4) カ
- (5) イ

#### ◆解説

- 接続語の問題。
- (1) 逆接の「しかし」
  - (2) 順接の「すると」
  - (3) 添加てんか(付け加える)の「そのうえ」
  - (4) 条件・限定の「ただし」
  - (5) 例示の「たとえば」

\*\*\*

### 《問題Ⅱ》 論理的読解力A (40点)

#### 第一問

■解答 (各2点)

- (1) ウ (2) ア (3) オ (4) イ
- (5) エ

#### ◆解説

- まず眼鏡の話題が(1)～(3)までであること  
を読み取ります。選択肢で、眼鏡に関して  
のものは、ア、ウ、オ。
- (1) 直後の「相手の顔が、皆みな、優しく、き  
れいに、笑って見える」から、眼鏡をとっ  
て人の顔を見たことだと分かります。
  - (2) 空所直前が眼鏡をとった時のこと、直  
後が眼鏡をかけた時のことなので、逆接  
の「だけど」があるアが答え。
  - (3) 眼鏡に関するもので、残ったのはオだ  
け。直前は眼鏡がみんなささぎってしま  
うとあるから、「眼鏡は、お化け。」が答  
え。
  - (4) 直前が目に雲が写っている様子である  
ことから、イが答え。
  - (5) 直前がお父さんが死んだという話して  
あることから、エが答え。

#### 第二問

■解答 (6点)

相手の顔が

#### ◆解説

- (1)の直後の「相手の顔が、皆みな、優しく、  
きれいに、笑って見える」が理由。

#### 第三問

■解答 (6点)

味気ない

#### ◆解説

直後に「ように」とあるので、「味気な  
く」を「おタクワンの臭いにお」にたとえたと  
分かります。後は、形容詞の終止形で答え  
るので、「味気ない」が答え。

#### 第四問

■解答 (10点)

全体がかす

#### ◆解説

- (1)の前を検討。「他の人には、わからな  
い眼鏡のよさも、ある」と述べながら、そ  
の直後の「全体がかすんで」以下は眼鏡  
を外した時のことなので、その直前に欠落  
文が入ることが分かります。

#### 第五問

■解答 (8点)

エ

#### ◆解説

- ア 本文末尾に「もうせんの人たちの事が  
〜味気なく思い出されて、かなわない」  
とあることから、×。
- イ 「私のからだの中に、どこかに、ばあ  
さんがひとついるようで」とありますが、  
実際におばあさんがいるのではなく、あ  
くまでたとえてして述べられているの  
で、×。
- ウ 最後の段落にあるように、うきうきす  
るのは夏ではなく、夏に近い五月のこと  
なので、×。
- エ 私は自分の目を、光りのない目だと  
思っているから、○。

\*\*\*

### 《問題Ⅲ》 論理的思考力 (40点)

#### 第一問

■解答 (10点)

ノートを取る時、黒板に書かれたことだ  
けでなく、自分と違う意見をメモすること  
で考える力が身につく。

#### ◆解説

最終結論は、「考える力が身につきます」  
です。話題は「ノートを取る時」。どうす  
れば考える力が身につくのかという点、  
「黒板に書かれたことだけでなく」「自分と  
違う意見をメモする」ことで。まとめる言

葉の「つまり」に注意しましょう。

## 第二問

### ■解答 (8点)

人間とは複雑な感情を持つ生き物である。

### ◆解説

Aだから、Bという論理パターンです。  
A「人は、あまりに偉大なものを見たり知ったりしてしまうと、逆に苦しくなることがある」とし、その具体例が「たとえば以下です。そして、だから、B「人間とは、複雑な感情を持つ生き物である」と結論づけています。「二十字以内」という条件だと、結論のBしか書きません。

## 第三問

### ■解答 (各4点)

- (1) 答えよりも答えを出すまでの考え方の方が大事だ。
- (2) 理解できていないことを人に説明することはできない。

### ◆解説

- (1) 「考え方の」↓「方が」が主語で、「大事だ」が述語。その「考え方の」を説明しているのが、「答え」↓「よりも」↓「答えを」↓「出す」↓「までの」↓「考え方の」となります。
- (2) 「説明」↓「する」↓「ことは」が主語、「できない」が述語。何を説明することなのかというところ、「理解」↓「できていない」↓「ことを」。後は、「人」↓「説明」↓「する」という言葉のつながりをつかみます。

## 第四問

### ■解答 (各4点・完全解答)

- (1) たとえば 出した (2) だ たい

### ◆解説

- (1) 「恐竜はまるで生きているようで動き出しそうだった。」が一文なので、「たとえば」「出した」が不必要。
- (2) 「あの人は親切で頼りがいがある。」が一文なので、「だ」「たい」が不必要。

## 第五問

### ■解答 (6点)

ほ乳類の中でもっとも大きいクジラは海に住んでいる。

### ◆解説

①が要点とあるので、①の文の中に②を入れ込みます。そこで、②をクジラを説明した文になるように変形すると、「ほ乳類の中でもっとも大きいクジラ」となります。

## 《問題Ⅳ》論理的読解力B

(40点)

\*\*\*

## 第一問

### ■解答 (8点)

E → C → B → D → A

### ◆解説

まずBが三番目に来ることに注意。Bの冒頭に「この色」とあるので、色について記述した文章を探すと、Cしかないことが分かります。  
そこで、C→Bという順番が決まります。次に、各冒頭をチェックすると、Aには「次に」、Bには「この色」、Cに「第一に」とあるので、これらが最初に来ることはありません。

そこで、DかEから始まると分かります。C→Bが第二段落、第三段落と分かっているため、Cの前に来るのがDかEかを考えると、CもEも茶わんの話なので、E→C→Bと確定できます。これらは茶わんの具体例ですね。それを観察していくと、雲や霧の発生が分かるという内容です。さらにCの冒頭の「第一に」にも注意しましょう。この後、どこかで「次に」が来るはずですね。

ここまで内容を整理すると、Eで茶わんに熱い湯が入っている例を持ち出し、この湯でも自然現象についての面白い見物があるとしていきます。そこで、以下、自然現象の話が来るはずで、Cで「第一に」とあるので、自然現象の一つ目の例が茶わんの湯げから雲や霧の発生が分かるということになります。さて、次にDが来るか、Aが来るかですが、Bの末尾は湯が熱いかぬるいか温度の話なので、その内容を受けているのが、Dの「締め切った室で、人の動き回らないとき」のことです。温度が高いと茶わんの湯げと同じように、空気はどんどんと高く上がっていくのです。

最後はA。ここで、「次に」とあるので、茶わんの湯げが上がる時、渦ができる話を持ち出しています。それを受けて、F。Fの冒頭の「これとよく似た渦で」の「これ」の指示内容がAであることから、A→Fが確認できました。この湯げの渦から、雷雨のでき方が説明できるので。

## 第二問

### ■解答 (8点)

ちり

### ◆解説

霧の発生の話はBです。蒸気が滴になる時には心になるものが必要だとし、それは「非常に細かいちりのようなもの」としてあります。「二字」という条件からも、「ちり」が答え。

## 第三問

### ■解答 (8点)

F

### ◆解説

欠落文は「庭先で起こる渦のようなもの」とあり、「もっと大仕掛けなものがあります」としているため、渦の大仕掛けなものが述べられている段落を探すと、Fが答え。

## 第四問

### ■解答 (8点)

始め ちよっと見 終わり のに見える

### ◆解説

最終結論はFの末尾「ちよっと見ただけではまるで関係のないような事がらが、原理の上からはお互いによく似たものに見える」で、その一例として茶わんと雷などを挙げたのです。

## 第五問

### ■解答 (8点)

雷

### ◆解説

Fの後半に「茶わんの場合に比べると仕掛けがずっと大きくて」として、その例として「雷雨」の例を挙げているのですが、「漢字一字」という条件から、「雷」が答え。

\*\*\*

## 《問題Ⅴ》論理的表現力

(40点)

### ■解答例 (各10点)

賛成

- ・ 店舗側にとっては人件費がかからず経費が削減できるから。
- ・ 有人レジより早いのでレジの混雑が防げるから。

反対

- ・ 果物などのバーコードがついていない商品があるから。
- ・ はかり売りができなくなるから。
- ・ 使い方がわからない人がいるから。

### ◆解説

賛成と反対その理由をそれぞれ二つずつ答えるのですが、後の語句を使うという条件が大切です。その結果、自由に書くのではなく、後の語句を組み合わせ、論理的に一文を作成する能力が問われることとなります。

賛成の理由としては、

「人件費」がかからない。

「混雑」を避けることができる。

「有人のレジ」より、早い。

などが考えられます。

反対の理由としては、

「はかり売り」ができない。

「バーコード」がついていない商品がある。

「使い方」が分からない人がいる。

などが考えられます。